



1月6日

消防出初式での栗市長

平成31年1月8日

新しい年があげました。平成31年のスタートということですが、今年は5月には「改元」となり、平成の時代から新しい時代へとバトンが渡る、そういう意味深い年を迎えたと感じています。

野々市市も市制施行して8年目になります。昨年の暮れに「ふるさとCM大賞」で本市の作品がグランプリを受賞いたしました。30秒のCMに「いつまでも人生の主役」をテーマにした作品であります。これはまさに今、野々市がめざしている姿、それを市民の皆さんにご理解いただき、共に進めてくださる姿が凝縮されていると思います。

市制施行後、総合計画に基づいて野々市をみんなで創っていこうという思いで、市民協働を進めさせていただきました。その具体的な形となったのが一昨年の「カレード」のオープン、そして今年の4月には「カミーノ」のオープンということになります。このふたつの拠点を中心に北国街道でつなぎ、それぞれの場所で皆さんにご活躍いただくことにより、にぎわいを創出し、それが市内全域に広がっていくような取り組みもこれから展開したいと思っています。

カミーノの工事の進捗状況は、おおむね順調に進んでいます。オープニングのイベントとしていろいろな企画も準備しております。特に、カミーノの前身は中央公民館ということもあるので、公民館をご利用いただいていたサークルや、ここを拠点に活動されていた皆さんが主役となるような計画を練っています。

さらにカミーノでは、新たな仕事にチャレンジする、起業される方の活躍も期待しています。民間商業施設の中にはシェアキッチン、シェアオフィスの設備も整えましたので、交流のなかで新しい価値や仕事が生み出されていくような場所、野々市の「元気の源」のような場所になってほしいと考えています。

本市には金沢工業大学、県立大学といった素晴らしい大学が立地しています。これまでも大学と連携をさせていただき、いろいろな取り組みをさせていただきました。そのような環境や整備させていただいたこれらの施設を含めて「野々市に来れば何か新しいことができるのではないかと、起業家の皆さんが腰をすえて多くの人と交流し、多くの事象に触れることで刺激を受けられ、ここから羽ばたいていく場所にもなれたらよいと思っています。

新しいことをはじめる、生み出すということにはかなりのエネルギーが必要です。事をなし遂げるタイミングを考え、その時を待つということもあります。時代は今年大きな節目を迎えます。

野々市に住むことにより大きな誇りと安心を持っていただき、「野々市がいちばん」を感じていただけるまちづくりを推し進めていきたいと思っています。